

い・せ・きワールドin前橋2018



二之宮八王子古墳



すごいねえ～。
石好きには、たま
ないんねえ。

前橋市東部の二之宮町で調査した古墳の石室です。石室とは死者を納めるための部屋です。床には細かい丸い石を敷きつめ、壁には大きい石がきれいに積まれています。左右の壁から奥の壁へ向かってゆるくカーブして、少しずつ手前にせり出しています。古墳を造った人々の職人技がキラリと光っています。また、石室の中からは人骨のほかに副葬品として刀や耳飾りなどが見つかりました。出土品からこの古墳には最低でも2人以上の人が葬（ほうむ）られていることもわかりました。埋葬（まいそう）された後、入口部分は石でぎっしりとふさがれていました。古墳が造られた時代の技術力の高さには驚かされるばかりです。

平成29年度は区画整理事業や小学校のプール工事など、前橋市内の多くの場所で発掘調査が行われました。調査によって、昔の人々が営んだ集落の跡や古墳などが見つかり、はるか昔に生きた人々の歴史が、少しずつ解明されていきます。

平成29年度の発掘調査

元総社蒼海遺跡群



1区全景

元総社地区は、奈良・平安時代には国府や国分寺が、中世には蒼海城（おうみじょう）があった歴史のある地区です。現在、せまい道路を広げるなど街の形を変える区画整理が続いているため、毎年、工事に先がけて、発掘調査を行っています。上の写真の調査区からは、古墳時代から平安時代の竪穴住居跡26軒が見つかりました。長い時代の中に色々な人達が生活していたため、新しい住居が古い住居を壊して重なり合っています。

※写真の中の白線部分が住居の跡

なっからあるんねえ〜。
こりゃ調査も大変だね。



小島田清水尻遺跡



丸く見えるところが古墳です

山王若宮V遺跡



2号墳で見つかった「葺石（ふきいし）」

前橋市南東部の市立山王小学校プール改築工事にあたり、発掘調査を行ないました。山王町周辺は古墳群として知られており、今回の調査でも古墳が4基見つかりました。特に2号墳は、帆立貝の形に似た、帆立貝式古墳（ほたてがいしきこふん）でした。部分的に葺石（ふきいし）が残っていました。

平成29年度 主な埋蔵文化財発掘調査一覧

遺跡名	所在地	主な時代
すいていこうづけこくふあと 推定上野国府跡	元総社町	古墳～中世
もとそうじゃおうみいせきぐん 元総社蒼海遺跡群	元総社町	縄文～中世
さんのうわかみやごいせき 山王若宮V遺跡	山王町	縄文・古墳・中世
こじまたしみずじりいせき 小島田清水尻遺跡	小島田町	古墳・平安・中世
にのみやはちおうじこふん 二之宮八王子古墳	二之宮町	古墳
とみやまこふん 遠見山古墳	総社町総社	古墳

前橋市中部の小島田町で大規模商業施設建設にあたり、発掘調査が行なわれました。調査場所は、桃ノ木川東側に広がる水田地帯で、多くの遺構（いこう）が見つかりました。中でも目を引くのは、古墳（円墳）が3基も見つかったことです。古墳の墳丘部（ふんきゅうぶ）：小山のようにこんもりしている部分）は残っていませんでしたが、古墳の周囲をめぐる堀が確認できました。埴輪（はにわ）もたくさん出土しました。

主な時代区分

西暦	紀元前 10000	紀元前 200	300	600	710	794	1185	1338	1573	1603	1868	年
	縄文時代	弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土桃山時代	江戸時代	明治～	
				古代			中世			近世	近代・現代	

二之宮八王子古墳

お墓の中での作業って不思議な感じだなあ～



全体的にさびていますが、まさしく「刀」ですね。どんな人物が埋葬（まいそう）されていたのかな？



たくさんの土器が
すごいことにつ！



きれいに石が積まれています。古墳時代の職人魂を、ビシビシと感じますね。発掘調査では、千数百年越しの『感動』にタイムスリップできるんです！

遠見山古墳



墳丘でのおまつりの跡



空から見た遠見山古墳



古墳をめぐる大きな堀

遠見山古墳（とおみやまこふん）は、総社町総社にある墳丘の全長が80m以上の大きな古墳で、○と□がつながったような前方後円墳（ぜんぽうこうえんふん）という形をしています。今年度の調査で幅10mほどの大きな堀や、墳丘に石を並べた葺石（ふきいし）などが見つかりました。古墳の中段では、高坏（たかつき）という脚のついた器がたくさん見つかりました。普段の生活ではあまり使わない土器であるため、古墳でおまつりをした跡と考えられます。

上野国府はどこに？ ～上野国府等範囲内容確認調査～

「国府」とは、おもに奈良時代から平安時代の頃に、全国各地を支配するために設けられたもので、現在に例えるなら、各都道府県に設けられた県庁のようなものです。

上野国（こうずけのくに）（現在の群馬県の範囲）の国府は、これまでのいろいろな研究で、前橋市元総社町のあたりにあると考えられていますが、ハッキリとした場所など、くわしいことがわからないので、文化財保護課では平成23年度から元総社町内で発掘調査を続けています。

平成29年度もやりました！

元総社小学校校庭の発掘調査 ～新たなる柱穴の発見～

元総社小学校の校庭の発掘調査も平成29年で5年目になります。発掘調査は校庭の一番西から、毎年少しずつ時計回りにぐると進め、平成29年度は「ターザンロープ」のあたりまでできました。もう少しで体育館へ届くくらいの場所です。

発掘調査では、柱が建てられていたと考えられる穴が3つ並んで見つかりました。3つだけ見つかったので、何の柱の穴なのかよくわかりませんが、もしかしたら建物の柱の穴なのかもしれません。

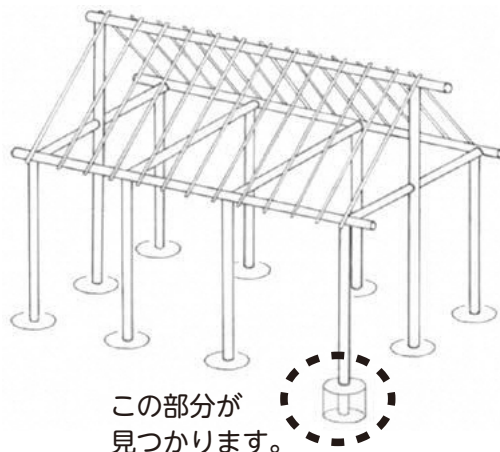
元総社小学校の校庭では、これまでに5軒の建物のあとが見つかりました。もし、この柱の穴も建物の柱の穴だとすると、6軒目の発見となります。



柱の穴の中は、黒い土・黄色い土でしまもようみたいになっており、真ん中に石が置かれていました。穴の土をよく観察して調べた結果、一度、穴に柱を立てて建物が建てられましたが、その建物がなくなったあとに、柱の穴の中に石を置いて、その上に柱を立てるやり方で、再び建物を建てたことがわかりました。つまり、この建物は、同じ場所で建て直しをしているようです。

建物の想像図

（掘立柱建物）
遺跡を発掘すると、
柱の穴だけが見つかります。



☆☆ 問い合わせ先 ☆☆

平成29年度の発掘調査成果

い・せ・きワールド in 前橋2018

前橋市教育委員会事務局文化財保護課／平成30年3月発行

住 所 前橋市総社町三丁目11-4

電 話 027-280-6511

FAX 027-251-1700

Eメール bunkazai@city.maebashi.gunma.jp